

シンポジウム参考資料（2016年6月25日）

1. 近年のラテンアメリカ関係年表

キューバ及びラテンアメリカ全体	ラテンアメリカ左派・中道左派政権	国際社会
<p>*2008年5月、南米諸国連合（UNASUR）発足。</p> <p>*2011年4月、太平洋同盟発足。 *同年12月、CELAC発足</p> <p>*2012年4月、第6回米州サミットでALBA諸国がキューバ招請案提出。 *同年9月4日、コロンビア政府とFARCが和平交渉開始（於オスロ→ハバナ）。</p> <p>*2013年3月19日、ローマ法王フランシスコ就任。 *同年8月、CARICOM首脳会議で旧植民地主義諸国に謝罪と賠償を求める決議採択。</p> <p>*2014年6月、OAS総会（於パナマ）時のサミット検討委員会がキューバ招請提案。 *同年12月17日、キューバと米国が国交正常化交渉開始を発表。</p> <p>*2015年4月、第7回米州サミット（於パナマ）開催、キューバ参加。米玖首脳会談。 *同年7月20日、キューバ・</p>	<p>*2011年11月、ホルヘ・ニカケア大統領再選、2012年1月就任（～2016年12月）</p> <p>*2013年3月5日、チャベス大統領死去→マドゥロ暫定大統領就任。 *同年4月4日、ベネズエラ大統領選挙でマドゥロ勝利。 *同年6月、ブラジルで大規模街頭行動。</p> <p>*2014年3月、エルサルバドル大統領選挙でFMLNサンチェス・セレンが勝利、6月1日就任（～2019年5月） *同年4月コスタリカ大統領選挙決選投票でPACリスが勝利、5月大統領就任（～2018年5月） *同年11月30日、ウルグアイ大統領選挙決選投票で拡大戦線バスクス勝利、2015年3月1日就任（～2020年3月）。</p>	<p>*2006年5月、TPPの4ヶ国グループ発足。 *2008年6月、国連食糧サミット開催。 *同年9月、リーマン・ショック発生。 *同年9月、米がTPP交渉開始意図表明。 *2009年10月、ギリシアの政権交代時に財政赤字隠蔽が露呈→2010年1月ギリシア発ヨーロッパ経済危機発生。 *2010年3月、米がTPP交渉開始。 *同年5月15日、スペインでM15開始。 *2011年、中国経済減速開始（→9.5→7.7→7.7→7.3→2015年：6.9） *同年9月17日、米国で"We are the 99%"によるウォール街選挙運動開始。</p> <p>*2013年7月、日本がTPP交渉参加。</p>

<p>米国国交正常化。</p> <p>*同年 9 月 23 日、コロンビア政府と FARC が和平交渉最終合意の署名期限を 2016 年 3 月 23 日にすることで合意（当日署名延期）。</p> <p>*2016 年 3 月 18 日、マドゥロ・ベネズエラ大統領がキューバ訪問。</p> <p>*同年 3 月 20 日、オハマ大統領がキューバ訪問</p> <p>*同年 3 月 25 日、R.Stones がキューバ初講演。</p> <p>*同年 3 月 31 日、コロンビア政府と ELN がベネズエラの仲介による和平交渉開始を発表。</p> <p>*同年 4 月 16~19 日、キューバ共産党 PCC 第 7 回党大会開催。</p> <p>*同年 5 月 23 日、トドリゲス・キューバ外相がベネズエラ訪問。</p> <p>*同年 6 月 16 日、ペルー司法当局がウマラ大統領夫人 Nadine Heredia の出国禁止命令（ベネズエラとブラジルからの不正資金受領の廉）。</p> <p>*同年 6 月 22 日、ハバナでコロンビア政府と FARC が停戦合意。同 23 日、ラウル・カストロ国家評議会議長が同席して署名。</p>	<p>*2015 年 1 月、モリス・ホリビア大統領が 3 期目就任。</p> <p>*同年 11 月 23 日、アルベンソン大統領選挙決選投票でマリクが勝利、12 月 11 日就任。</p> <p>*同年 12 月 3 日、エクアドル国会が公職選挙に関する改憲承認（コリアは 2017 年 5 月まで）</p> <p>*同年 12 月 6 日、ベネズエラ総選挙で野党連合 MUD が勝利し、与党大敗。</p> <p>*2016 年 2 月 21 日、ホリビアでモリス大統領の 4 選を可能にする憲法改正に関する国民投票で反対票が上回る。</p> <p>*同年 3 月 29 日、ブラジル民主運動党（PMDB）が連立与党から離脱。</p> <p>*同年 5 月 12 日、ルフ・ブラジル大統領が職務停止に追い込まれる。（+ルラ潰し）</p> <p>*同年 5 月 17 日、マドゥロ大統領が左派政権打倒の国際的策謀を批判。</p> <p>*同年 5 月 27~28 日、ベネズエラ政府と野党がサントドミンゴで仲介団と会談。</p> <p>*同年 6 月 11 日、マドゥロ・ベネズエラ大統領が大統領罷免国民投票を来年 3 月頃実施と表明。</p> <p>*同年 6 月 14 日、ケ-米国務長官がベネズエラの大統領罷免国民投票実施を支持するとともに、両国間の緊張緩和のため高級レベル会談実施を発表。</p>	<p>*2015 年 11 月、閣僚会議で TPP 大筋合意。</p> <p>*2016 年 2 月 4 日、TPP 協定署名。</p> <p>*同年 6 月 23 日、イギリスで EU 離脱をめぐる国民投票実施。離脱が残留を上回る。</p>
---	---	---

2. 現状認識のための留意事項

(1) ラテンアメリカ左派・中道左派政権への逆風

*アルゼンチン→ブラジル→(ベネズエラ)→<ニカラグア>→(エクアドル)→(ボリビア)→

*2013年3月以降の情勢変化は各国情勢の複合的結果か? あるいは国際的な背後関係が存在するのか?

*FTAA 交渉復活の可能性(2005年 FTAA 挫折→2016年現在 TPP 難航→FTAA 交渉復活?)

(2) 米国・キューバ国交正常化の背景

*1990年代前半から米国社会の意向あり。

*米国側事情(オバマ政権の外交業績強調の必要性)+キューバ側事情(ラテンアメリカの左派・中道左派政権の情勢変化、特にベネズエラ情勢)

(3) 歴史の段階的プロセス

*資本主義システムの諸段階(第4段階:「新自由主義」→ポスト新自由主義)

*「新自由主義」モデルでは人類社会の諸問題に対処不可能(気候変動・地球温暖化、水資源問題、エネルギー問題、食料・食糧問題等)→少なくとも、「管理型資本主義」が望ましい。